

ぶんぼう 1

教科書・課	『日本語あきこと友だち』第2課
表現	アムさんは学生ですか。 ことば：学生、先生、会社員、医者、ガイド、歌手、俳優、公務員、警察官、エンジニア
目標	相手の職業を聞くことができる。
準備	職業の絵カード A4 サイズ 職業の絵カード ミニサイズ（厚紙） 8 グループ分

【教案】

00 出席	
05 導入	絵カードを使って、ことばの練習 ※ J T が発音モデルをする。
15 聴解練習	① 黒板に職業の絵カードを 10 枚貼り、その下に番号を書く。 ② J T が問題を出し、S は聞いて、どの職業か、番号で答える。 例 J T 「医者」→ S 「1」
20 基本練習	絵カードを使って、テンポよくドリル練習をする。 ※ J T が発音モデルをする。 ※ T T は S がわからないとき、説明する。 ドリル① アムさんは学生です。ブランさんは学生ではありません。 ドリル② アムさんは学生ですか。 → はい、学生です。／ いいえ、学生ではありません。
30 応用練習	【職業当てゲーム】 ① グループごとにカードを配り、裏返して真ん中に置く。 ② 生徒 A が、他の人から見えないように、カードを引く。 ③ ほかの人は、生徒 A の職業を推測して、1 回ずつ順番に質問する。 例 B 「A さんは医者ですか。」→ A 「いいえ、医者ではありません。」 C 「A さんは歌手ですか。」→ A 「いいえ、歌手ではありません。」 D 「A さんは学生ですか。」→ A 「はい、学生です。」 ④ 職業を当てた人がカードをもらう。だれも当てられなかったら、A がカードをもらう。 ⑤ カードが全部なくなるまで、繰り返す。最後にいちばんカードをたくさん取った学生の勝ち。 ※ T T はゲームのやりかたを説明し、J T は例を見せるのを手伝う。 ※ T T と J T はそれぞれグループを回り、必要なら、手伝う。
45 まとめ	① 勉強したことを S に確認する。 J T が職業のカードを持ち、S はそれを推測して、質問する。 T T はランダムに S を当て、S が質問できるかどうか確認する。 ② あいさつ

ぶんぼう 2

きょうかしょ・かい 教科書・課	にほんご あきこと ともだち だい 3 かい 『日本語あきこと友だち』第3課
がくしゅうこうもく 学習項目	ことば 「～がありますか」
もくひょう 目標	ことばをおぼえて、ものがあるかどうか、しつもん 質問できる。
じゅんび 準備	ことばの絵カード (もの)

【教案】

どうにゅう 導入 れんしゅう 練習	① 絵カードを使って、J T のあとにリピートする。 ★ T T は必要に応じて意味を確認する。 ② ことばをおぼえるまで練習する。
ちやうかいれんしゅう 聴解練習	① ことばの絵カードを黒板にはり、番号をふる。 例 1.  2.  3.  4.  5.  ② J T がことばを一つずつ発音する。S は聞き取ったことばを番号で答える。 J T はだんだん速く発音する。
どうにゅう 導入 れんしゅう 練習	③ 絵カードを使って、「〇〇がありますか。」という文を練習する。 テンポよく、すこし速く練習する。 ★ T T は「〇〇がありますか。」の意味を説明する。
おうどうれんしゅう 応答練習	【「ありますか」ゲーム】 ① グループに分かれる。 ② S から見えないように、箱に絵カードを入れる。このとき、全部は入れない。 ③ J T は箱の中のものを確認する。 ④ グループごとに、箱の中のものを推測し、「〇〇がありますか。」と順番に質問する。J T は、「はい、あります。／いいえ、ありません。」と答え、カードがあったら、点数を与える。箱の中のカードがなくなったら、カードを入れなおす。点数がいちばん高いグループの勝ち。

ぶんぼう 3

教科書・課 きょうかしょ か	『日本語あきこと友だち』第4課 にほんご とも だい4 か
学習項目 がくしゅうこうもく	～が好きですか。 す
目標 もくひょう	習った表現を使って、JTに質問できる。 なら ひょうげん つか JTの答えがわかる。 JT こた
準備 じゅんび	宿題：JTに聞きたいことを考えてくる。 しゅくだい き かんが

【教案】

復習 ふくしゅう	①「～が好きですか」を復習する。JTの発音を聞いて、リピートする。JTは習ったことばを使って、テンポよくドリルをする。 ②Sはペアになり、互いに好きなものを聞き合う。TTはいろいろなことばを使うよう、促す。答え方も確認する。 す つか はつおん き なら たが す あ つか うなが こた かた かくにん
JTに好きなものを聞く す き	①グループで、JTが好きそうなものを推測し、10個、紙に書いておく。 ②グループごとに、一つずつ、好きかどうか聞いていく。JTは「はい、好きです」「いいえ、好きじゃありません」と答える。JTが好きなの物をたくさん推測したグループの勝ち。 ★TTは点数をつける。 す すいそく こ かみ か す す こた すいそく てんすう
JTの質問に答える しつもん こた	JTはランダムに「～が好きですか」と、Sに質問する。 す しつもん

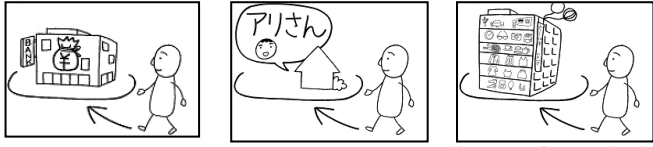
ほかの文型例
ぶんけいれい

- ・きのう～ましたか。
- ・～を知っていますか。
- ・～(こと)ができますか。
- ・～たことがありますか。

ぶんぼう 4

教科書・課	『日本語あきこと友だち』第5課
学習項目	～は（場所）へ行きます、来ます、帰ります 場所のことは
目標	どこへ行くか相手に質問することができる
準備	絵カード（パワーポイントでもいい）

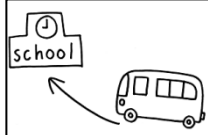
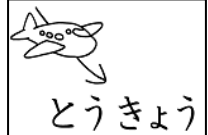
【教案】

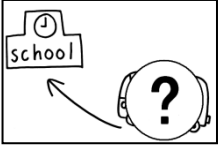
00 あいさつ	
05 テイクテーション	J Tが4課のことはを2回ずつ言う。Sは用紙にことはを書いて、提出する。
15 語彙導入 練習	① T Tが絵カードを使って「行きます、来ます、帰ります」を導入する。 T Tは「行く」と「来る」の違いを、Sに考えさせながら、導入する。 ② T Tの発音モデルのあとに「行きます、来ます、帰ります」を反復練習する。 ③ J Tが絵カードを使って、場所のことはを導入する。 ※ T Tは必要に応じて、意味を確認する。 ④ J Tの発音モデルのあとに場所のことはを覚えるまで、練習する。
25 文型導入	① T Tが絵カードを使って「～へ行きます」を導入する。  ② T Tは、意味をSに考えさせながら、動詞と場所の間に「へ」が入っていることに気づかせる。
30 基本練習	① 代入練習 T T「学校」→ S「学校へ行きます」 ② 反復練習 J T「学校へ行きますか。」→ S「学校へ行きますか。」 J T「はい、行きます。」→ S「はい、行きます。」 J T「いいえ、行きません。」→ 「いいえ、行きません。」 ③ 応答練習 T T「学校へ行きますか。」→ S「はい、行きます。」 S「いいえ、行きません。」 ④ 応答練習 S「学校へ行きますか。」→ J T「はい、行きます。」 J T「いいえ、行きません。」
40 応用練習	① Sはそれぞれ行きたい場所を決め、紙に書く。（紙を他の人に見せてはいけない。）そして、ペアになって、「～へ行きますか。」と聞き、「はい、～へ行きます。」という答えが出るまで、質問する。 ※ T Tはやりかたを説明し、J Tは例を見せるのを手伝う。 ※ T TとJ TはそれぞれSが話せるかどうか、見て回る。 ② ランダムにSを当て、T T、J T、ほかのSに質問させる。
50 まとめ	今日習ったことを確認する。 あいさつ

ぶんぼう 5

教科書・課	『日本語あきこと友だち』第5課
学習項目	【乗り物】で行きます
目標	目的地へどうやって行くか伝えることができる
準備	【乗り物】【歩いて】の絵カード 「～で～へ行きます」の絵カード（8～10枚） タスクシート

【教案】

語彙導入 語彙練習 (10分)	【乗り物】の語彙を導入する。 ① T T が絵カードを持ち、J T が発音し、まず聞かせる。T T は意味を確認する。 ② 意味がわかったら、絵カードを黒板に貼り、番号をつける。J T の発音を聞いて、S は何番の絵か答える。 ③ ことばを聞くのに慣れたら、S は T T のあとに2回ずつリピートする。だいたい覚えるまで、反復練習をしたり、絵を見てS にことばを言わせたりする。
文法導入 練習 (15分)	① 絵カードを使って、T T は「バスで学校へ行きます」「自転車で学校へ行きます」「飛行機で東京へ行きます」をそれぞれ2回ずつ言う。S は聞く。    ② T T は S に意味を推測させる。そして、助詞「で」に気づかせる。「で」をどんなときに使うのかも、S に推測させる。わかったS がいたら、拍手。 ③ T T は文法の形、使い方を確認し、S が理解したか、確認する。 ④ 乗り物の絵カードを使って、「バスで行きます」「自転車でいきます」「飛行機で行きます」など、「～で行きます」を練習する。2回ずつJ T のあとにリピートする。反復練習のあとに、代入練習をし、S がスムーズに言えるまで練習する。 ⑤ 【反復練習】絵カード（8～10枚）を見ながら、S は T T のあとに2回ずつリピートする。反復練習のあとに、絵を見て、S に言わせる。 ⑥ 【代入練習】T T は「バス・学校」「自転車・学校」「飛行機・東京」など、【乗り物】【場所】のキューを出し、S に「～で～へ行きます」という文を言わせる。S がスムーズに言えるまで練習する。 ⑦ 【拡大練習】※8文ぐらい準備しておく 例 J T 「行きます」→ S 「行きます」 J T 「学校」→ S 「学校へ行きます」 J T 「バス」→ S 「バスで学校へ行きます」

ぶんぽうどうにゅう 文法導入 練習 (5分)	①絵カードの乗り物のところに②をつけて、 TTは「どうやって学校へ行きますか。」を導入する。 まず2回聞かせ、Sに意味を推測させる。 ②TTは意味を確認する。 ③【応答練習】ほかの絵も使いながら、「どうやって学校へ行きますか」「バスで行きます」という練習をする。 
会話練習 (15分)	①TTとJTで例を聞かせる。わかりにくいようだったら、もう1度聞かせる。 TT：〇〇さん、どこへ行きますか。 JT：スーパーへ行きます。 TT：どうやって行きますか。 JT：自転車でいきます。 TT：そうですか。いってらっしゃい！ ②TTは会話の場面、流れ、意味などを確認する。 ③絵カードと②を使って、何パターンか練習する。全体で練習したり、クラスを半分に分けて、会話練習をさせたりするといい。 ④Sが言えるようだったら、タスクシートを配り、2～3人に質問させる。 TT、JTはSの会話を聞きながら、会話がスムーズにできているかどうか確認する。 ⑤時間があったら、ランダムにSを選び、発表させるといい。

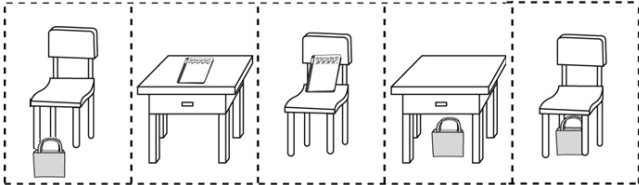
タスクシート【例】

	れい	わたし	さん	さん	さん
どこ	がっこう				
どうやって	くるま				

ぶんぼう 6

きょうかしょ・くわ 教科書・課	にほんご あきこと ともだち だい 3 かい 『日本語あきこと友だち』第3課
がくしゅうこうもく 学習項目	～はどこですか。～の～です。 い ち あらわ うえ した まえ うし なか そと 位置を表すことば：上、下、前、後ろ、中、外
もくひょう 目標	じぶん さが じつもん 自分が探しているものがどこにあるか、質問できる。 もの ばしょ かんたん せつめい 物がある場所を簡単なことばで説明できる。
じゅんび 準備	え 絵カード (位置) にほんご あきこと ともだち だい 3 かい れんしゅう 6 (p.79) の え 『日本語あきこと友だち』第3課 練習 6 (p.79) の絵

【教案】

00 あいさつ	
05 語彙導入 練習	① J T は絵カードを使って、位置のことばを発音し、S に聞かせる。  ② T T は S に意味を確認する ③ 【聞き取り】 J T が語彙を言い、S はタイ語で言う。 ④ 【反復練習】 J T は絵カードを見せながら、語彙を言う。S は J T のあとに 2 回ずつリピートする。反復練習のあとに、絵を見て、S に言わせる。 ⑤ 【上下体操】 T T は体を使って、上、下、前、後ろ、中、外を、ことばを言いながら、示す。S はいっしょに動作をする。慣れてきたら、T T は動作をやめ、S だけが、T T が言ったことばに合わせて、動作をする。最後に、T T が動作をし、それを見て S がことばを言う。
15 文法導入 練習	① J T は机の上やいすの下などを指しながら「机の上です」「いすの下です」と言う。T T は「机の上」の間にどんなことばがあったか S に聞く。「の」が入ることに気づかせる。  ② 【反復練習】 ★絵カードを使う。 T T 「机の上です」 → S 「机の上です」 (2 回ずつ) ③ 【代入練習】 ★位置のことばを変える。 J T 「机の上です」 → S 「机の上です」 J T 「下」 → S 「机の下です」 J T 「中」 → S 「机の中です」 ④ 【完成練習】 ★絵カードを使う。 T T 「かばんは」 → S 「かばんはいすの前です」

25 ぶんぼうどうにゅう 文法導入 練習	① J T は上の絵カードの物の絵を②の紙で隠しながら、「かばんはどこですか」と S に質問してから、②の紙を取る。そして、S から「<u>いすの前</u>です」という発話を引き出す。 ② 【反復練習】★絵カードと②を使って、 T T 「かばんはどこですか。」 → S 「かばんはどこですか。」 T T 「いすの前です」 → S 「いすの前です」 ③ T T と J T は『日本語あきこと友だち』第3課 練習 6 (p.79) の会話を導入する。 T T : すみません。じしょはどこですか。 J T : じしょですか。本だなの上です。 T T : どうもありがとうございます。 ★大きい絵を黒板に貼る。J T は答えながら、辞書の絵を本だなの上に置くといい。 ★T T は意味を確認する。 ④ J T と S で、質問役と答える役を交代しながら、役割練習をする。 S がだいたい覚えるまで、練習する。 【情報差を利用した練習】 ⑤ T T はクラスを A と B のふたつに分け、A を教室の右側、B を左側に移動させる。 練習 6 (p.79) の指示のとおり、一人一人4つの物を好きなところにかくように言う。それから、T T は、これからペアになる相手に、自分がかかなかったものがどこにあるか質問して、答えを聞いて、それがあるところをかくように指示する。ペアの相手の絵を見てはいけないと注意する。 ④ S は A と B でペアを作り、相手に自分が知りたいことを聞く。練習は立って行い、終わったペアは座るように指示する。 ※ T T と J T は、S の会話を聞いて回る。 ⑤ 全員終わったら、お互いの絵を見せ合い、正しいかどうか確認させる。 ⑥ 最後に、黒板に貼った絵を使い、ランダムに2人 S を当て、会話をさせる。質問者は、物がある場所がわかったら、絵をその場所に置く。T T、J T と会話をしてもいい。
45 まとめ	T T は S に今日勉強したことを確認する。